

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

でんとうてき

ぎょうじ

げいのう

伝統的な行事と芸能



かん けい

ば しょ

関係のある場所

—

いなりしもつきたいさい

稲荷霜月大祭

新見市

高梁市

総早倉矢井浅里笠
社島敷掛原口庄岡
市町市町市町市



ぎょうじ

この行事について

いな り しも つきたい さい まい とし がつ だい にちよう び おこな ちかのりいなりじんじゃ たいさい さん どう
「稲荷霜月大祭」は、毎年12月の第1日曜日に行われている近似稲荷神社の大祭です。参道
じん じゃ まえ どう ろ おお ろ てん なら こうれい うえ き いち まい かい ひら
や神社前の道路には多くの露店が並び、恒例の植木市も毎回開かれています。

ちかのりいなりじんじゃ さい じん わかみむすびのかみ うかのみたまのかみ とようけのおおかみ かん こう がん ねん ねん か さんじょう
近似稲荷神社の祭神は、稚産霊神・倉稻魂神・豊受大神とされ、寛弘元年(1004年)、花山上
こう ち み まわ さい じん じゃ な まえ しょういち い な り だいみょうじん はじ い
皇がこの地を見回った際に、神社の名前を正一位稲荷大明神とされたのに始まったと言われて
います。

え ど じ だい なか がつ さいしゅうしゅう しゅうかん しも つき たい さい おこな
江戸時代中ごろから、11月の最終週、1週間にわたって霜月大祭が行われていました。

たかはし せ とうち けん ぼく こうつう さんぎょう たい せつ ち さか
高梁は、瀬戸内から県北にかけての交通、産業などのうえで大切な地として栄えていたため、
さん ばい しゃ ひろ ち いき い ぜん りき し まね すもう たいかい かい さい
参拝者は広くの地域にわたっており、以前は力士を招いて相撲大会も開催していました。